

# 操法要員の夏を追う

今回の操法大会では、小型ポンプ操法の部に出場した第8分団第28部の要員の、訓練から当日までの密着取材を行いました。

訓練は6月から始まり、最初は規律の訓練から行いましたが、操法大会経験済みでも、体がうまく動かなかったそう。その後、本番を想定した訓練に移ります。

当日の会場となるスポーツ広場で、本番さながらの訓練もしました。指導員や先輩の指導に真摯に耳を傾け、ただひたすらに「早く、正確に」を追求します。中谷津の田んぼの中でも訓練は行われます。蛙の合唱をかき消す隊員の声が、谷津田に響き渡ります。週2回の訓練を行い、本番へ向けた準備が整っていきました。

そして迎えた本番当日。仕上がりを見てみると、「可もなく不可もなく」という感じですが、本番の一瞬に掛けています」と答えてくれました。部の先輩から「演技の時間は3分間しかない。悔いが残らないように全てを出し切ってほしい」とエールが送られます。

出場は小型ポンプ操法の部の6番目。雨が降る中行った演技の感想を聞くと「全然ダメでした。思っていたとおりの演技ができませんでした」と肩を落としてしまいました。結果は64点で第3位。



指導員の話に熱心に聞く

優勝した隊との点差は22点でした。

悔しい結果となった操法大会。指揮者の下野純さんは「緊張感が不足していました。自分のベクトルが出せず残念だし、応援をしてくれた部や分団の皆に申し訳ないです。もしまた大会に出場する機会があれば、優勝目指して頑張ります」と話してくれました。

## interview

### 第8分団第28部

部長 鈴木 隆史さん

操法というのはただの競技ではなく、身につけていければ実際の火事場でも活躍できます。また選手だけでなく28部が一体になって訓練していきますので、心のつながりができます。結果は3位でしたが、優勝目指して頑張ってきたのを知っているので、

価値ある3位だったと思います。次回も優勝目指して頑張ってくださいですね。

### 指揮者 下野 純さん

操法はひとつの目標に向かって部が一体となって訓練を積み重ねていきます。これは例えると小中学校の部活動と同じですね。一生懸命に打ち込むことは面白いです。

同じ地区に生まれたとはいえ、操法がなければ親しくなることがなかったメンバーと強い絆でつながりました。この絆を次の世代にも引き継いでもらいたいです。



写真中段左より 指揮者 下野 純さん、1番員 鈴木康修さん、2番員 藤崎 望さん、3番員 大木和也さん 補助員 松本 俊一さん 前列中央 部長 鈴木隆史さん

# 消防団ってどんな組織？

今年で結成から61年を数える、伝統ある芝山町消防団。ここでは地域防災の要である消防団についてご紹介します。

## 消防団とは

消防団は消防組織法に基づいて市町村に設置されている消防機関です。団員の身分は特別職の地方公務員で、普段はそれぞれのの仕事に就いており、災害時はボランティアの精神で活動を行います。

## 消防団の歴史

消防団の歴史は古く、江戸時代に徳川吉宗が設置した「町火消し」が前身だといわれています。明治時代になると政府は公設消防組の育成を図るため、明治27年に消防組規則を制定。大正時代には飛躍的に数を増やしました。昭和14年には警防団令によって警防団に改組。戦後の昭和22年公布の消防団令により警防団は廃止され「消防団」が誕生し、その後消防組織法が公布され今日へとつながっていき

ます。

芝山町消防団は、昭和30年7月に芝山町が誕生すると同時に発足しました。発足当初は26分団715名でした。同35年に組織再編を行い8分団28部体制となり、現在は7分団19部体制で活動しています。

## 消防団の仕事

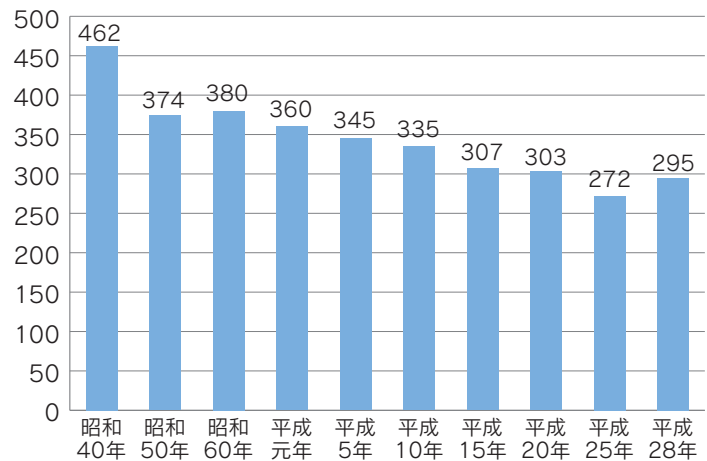
火災発生時の消火活動はもちろん、地震や台風、集中豪雨に伴う救援、救護活動も行っています。平常時には消防ポンプや防火水槽の点検や消火訓練などを行い、有事があった時のために備えています。

なお、階級に応じた報酬なども支給されますが、活動の根幹にある考え方は「自分たちの町は自分たちで守る」という使命感と郷土愛。地元を守るため、皆さんも消防団活動にご協力ください。

## 平成28年度の主な年間事業

6月	定例巡視 山武支部操法大会
7月	町消防操法大会
8月	班長以上規律訓練および初任者訓練
10月	航空機事故消火救難総合訓練
11月	定例巡視 防火水槽点検
12月	歳末等警戒（夜警）
1月	町消防出初式
2月	各部機械器具の点検

## 消防団団員数の推移



## 分団の名称および管轄区域

分団の名称	管轄区域
第1分団	小池1～9、芝山、バルールド、芝山台
第2分団	新井田、高田東・西、新井田新田、はにわ台、ハニワ台ニュータウン
第3分団	大台北・南・西・宿、山田、一本松
第4分団	山中東・西、高谷、殿部田、境、宮崎、上・下吹入
第5分団	小原子、浅川、稲葉、飯櫃、白枳、加茂
第7分団	岩山、谷平野、朝倉、牧野東・西、宝馬、川津場、三和、あけほの、スカイビレッジ
第8分団	菱田東、辺田、中郷、菱田宿、坂志岡、千代田、住母家、中谷津、横堀